

令和 3 年度の市民参画事業にかかる進捗状況について（報告）

1 市民懇談会等の取り組みについて

(1) 市民懇談会

ア 都市計画マスタープラン（都市計画・交通政策課）

日 時：令和 3 年 10 月 3 日（日）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：7 地区会館（各学区ごと） ※会場別同時開催

参加者：76 名（一般申込 37 名、学区推薦 19 名ほか）

イ 環境基本計画中間見直し（環境政策課）

日 時：令和 3 年 11 月 3 日（水・祝）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：もりやまエコパーク交流拠点施設 多目的ホール

参加者：60 名（一般申込 34 名、一般傍聴 1 名、学生ファシリテーター等 11 名ほか）

成 果：十分なコロナ対策を講じ、7 班に分かれてワークショップを行った。各班で活発な意見交換が行われた。

(2) 学区市民懇談会（わがまちミーティング）（守山学区）

令和 4 年 2 月 11 日（金・祝）に開催する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、開催の中止を決定した。

(3) もりやま未来ミーティング（予定）（企画政策課・市民協働課 共催） … 別紙 1

若年層（18 歳～39 歳）を対象とした市民懇談会で、第 2 次守山市行政経営方針の策定に向けて実施。「これからの協働のまちづくり職員勉強会」（後述）メンバーの有志職員も参加。

テーマ：「若者イチ推しのまちづくりって何？」

日 時：令和 4 年 2 月 20 日（日）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：守山市役所 大ホール

参加予定者：40 名

(4) 市民ワークショップ等

ア 伊勢遺跡史跡公園の活用について（文化財保護課）

日 時：令和 3 年 6 月 12 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

場 所：守山市立図書館 多目的室

参加者：4 グループ・40 名（一般申込 25 名ほか）

イ 第4期守山市地域福祉計画（健康福祉政策課）

日 時：令和3年6月20日（日）午前10時30分から午後0時30分まで

場 所：守山市立図書館 集会室

参加者：2グループ・13名（一般申込 9名ほか）

ウ 伊勢遺跡史跡公園の整備と活用について（文化財保護課）

日 時：令和3年6月27日（日）午後1時30分から午後4時30分まで

場 所：守山市立図書館 多目的室

参加者：5グループ・40名（一般申込 27名、パネリスト9名ほか）

エ【新】これからの協働のまちづくり職員勉強会（市職員ワークショップ）

（企画政策課・市民協働課 共催）

持続可能なまちづくりの実現に向けて、有志職員による自主的な勉強会を立ち上げ、本来業務の垣根を越えて、ワークショップ形式での勉強会を開催した。

参加者は、2月20日のもりやま未来ミーティングにも参加予定。

日 時：令和4年1月17日（月）午後1時30分から午後3時30分まで

場 所：守山市民交流センター サロンルーム

参加者：2グループ・10名（職員有志メンバー）

成 果：庁内掲示板で公募し、現在17名のメンバーが登録。

主事・主任級の職員が多く、柔軟な視点・発想で、初めてのワークショップにもすぐに順応していた。今後も不定期に継続して開催していく予定。

(5) パブリックコメントの実施

前年度に続き、情報発信や意見収集方法に工夫し、実施した。

【R3年度実施結果】 10件実施、意見提出者数 15件、提出意見数 22件＋集計分
（参考）R2年度結果 11件実施、意見提出者数 50件、提出意見数 177件

パブリックコメントの実施状況



(6) 市民参画の方法（まとめ）

	策定する計画等 (所管課)	市民参画の手法					
		審議会 等	市民懇 談会	市民ワ ークシ ョップ	市民ア ンケー ト	市民説 明会	パブリ ックコ メント
1	守山市文化財保存活用地域計画 (案) (文化財保護課)	○		○		○	○
2	第5次財政改革プログラム(案) (財政課)						○
3	第11次交通安全計画(案) (危機管理課)	○					○
4	J R 守山駅東口における新施設 整備等に関する具現化方針等 (案) (地域振興課)					○	○
5	第4次守山市就労支援計画(案) (商工観光課)	○					○
6	第3期守山市スポーツ推進計画 (案) (スポーツ振興課)	○	○ R1 実施				○
7	第4期守山市地域福祉計画(案) (健康福祉政策課)	○		○			○
8	守山市住生活基本計画(案)(建 築課)	○			○		○
9	第5次守山市社会教育・生涯学 習まちづくり基本計画(案)(社 会教育・文化振興課)	○				○	○
10	第2次守山市行政経営方針(案) (企画政策課)	○					○
11	守山市都市計画基本方針(都市 計画マスタープラン)改訂(案) (都市計画・交通政策課)	○	○			○	○ R4 予定
12	第2次守山市環境基本計画中間 見直し(環境政策課)	○	○				○ R4 予定
13	第2次守山市水道ビジョン(案) (上下水道事業所 経営総務 課)	○				○	

2 市民提案型まちづくり支援事業の実施

助成団体が中間報告のため、「もりやま市民活動フェスタ 2021」内で事業進捗状況について展示発表を行った。また、今年度採択の「環境保護団体 あちゃはぴ」、「手しごとの会」と昨年度採択の「特定非営利活動法人きょうどう守山」の3団体がステージで活動事例を報告した。

3 ファシリテーター養成講座（養成編・フォローアップ編）の開催

(1) 職員向けファシリテーター養成講座

日 時：①令和3年11月8日（月）午後2時から午後5時まで

②令和3年11月12日（金）午後2時から午後5時まで

場 所：守山市民交流センター サロンルーム

講 師：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

参加者：① 31名、② 23名、計 54名

成 果：参加職員の過半数が市民を対象とした話し合いの場を進行した経験が無く、なかには、ファシリテーションに対して苦手意識がある参加者も見受けられた。しかしながら、受講後のアンケートでは「ためになった」、「さらに深く学びたい」という感想が多く提出され、実践経験の有無に関わらず、座学での研修についても継続して実施することが必要と感じた。

(2) 市民向けファシリテーター養成講座

日 時：令和4年1月9日（日）午後1時から午後4時まで

場 所：守山市民交流センター サロンルーム

講 師：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

参加者：15名

成 果：参加者の約半数が初めての受講者であったが、講師の分かりやすい説明・進行によって、「ファシリテーションの楽しさ、話し合いの大切さ、安心の場づくりの重要性を認識できた。」等の感想が多かった。参加者からは、今後開催されるフォローアップ講座や市民懇談会にも積極的に参加したい旨意思表示をいただいております、新たなファシリテーターを発掘する機会としても十分な研修内容であった。

(3) ファシリテーターフォローアップ講座（市民・職員合同開催）

令和4年1月28日（金）に西川実佐子講師による開催の準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、案内等送付前に中止を決定した。

4 「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」の開催

未来を見据えたまちづくりに対する市民意識の醸成を目的に、まちづくりの課題解決のヒントにつながる活動の事例発表や講演を開催した。

【第1回】

日 時：令和3年11月20日（土）午前10時から正午まで

（もりやま市民活動フェスタ 2021 内で開催）

場 所：守山市民交流センター 多目的ホール

講師：【第1部】村田 和哉氏（守山市出身 元プロサッカー選手）

【第2部】市民提案型まちづくり支援事業採択団体（3団体）

① 特定非営利活動法人きょうどう守山

② 手しごとの会

③ 環境保護団体あちゃはぴ

参加者：34名（アンケート回答数から）

成果：第1部では、講師の村田氏が、人との繋がりを大切にこれまでプロサッカー選手として意識して行ってきたことや実際の活動内容について講演があった。村田氏が滋賀県にJリーグを創設するため、現在挑戦している活動は、市民活動団体が活動を継続していく上での新たな糸口となるような内容であり、アンケート結果にも、「心を打たれた」や「情熱をもって行動することが、周囲を巻き込む力を生むのだと感じた」などの意見が寄せられていた。

第2部では、市民提案型まちづくり支援事業採択団体がそれぞれの活動内容について説明し、参加者からは、「各々の団体が（コロナ禍で）懸命に活動していることを知ることができた」などの意見が寄せられていた。

【第2回】

令和4年2月23日（水・祝）開催する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、案内等送付前に中止を決定した。

5 「もり・まっち」別冊「市民活動団体マッチングリスト」の発行について

… **別紙2**（別冊配布）

8月下旬 市民活動手引書「もり・まっち」を作成、配布

（市内関係施設22ヵ所に配置、配布部数500部、今後にも必要に応じて増刷予定）

1月中旬 59団体の活動内容を纏めた「市民活動団体マッチングリスト」を、「もり・まっち」の別冊として作成した。（市内関係施設17ヵ所に配置、配布部数100部）同冊子の配布に加え、掲載内容については、交流センター館内で掲示しているほか、市ホームページにも掲載し、情報発信を行った。

6 「住みやすさ指標」市民アンケートの実施

(1) アンケート回収の結果

「住みやすさ日本一が実感できるまち守山」を目指し、市民と行政が目指すまちづくりの方向性を明確にする市民による「住みやすさ」の実感度合いを評価する指標（住みやすさ指標）を把握するため、令和元年度に見直しを図った項目で、平成28年度以降となる市民アンケートを実施した。

[集計状況（速報値）]実施期間：令和3年8月25日（水）～令和3年9月17日（金）

対 象 者：市内在住者 2,000 名（無作為抽出）

回答件数：917 件（うち郵便 702、ネット 215）（参考）前回 815 件

回 答 率：45.9% （参考）前回 40.8%

(2) 住みやすいまちづくり分科会の開催

日 時：令和 3 年 12 月 22 日（水）午前 10 時から正午まで

場 所：守山市民交流センター サロンルーム

参加者：22 名（分科会員 29 名）

アドバイザー：只友 景士氏（龍谷大学政策学部教授、守山市市民参加と協働のまちづくり推進会議委員長）

成 果：「住みやすさ指標」市民アンケートの結果に関する考察と各施策への活用を協議するため開催した。アドバイザーの助言もあり、活用に向けた様々な質問や意見が上がり、全体的に前向きな意見が多く聞かれた。

(3) 住みやすさ指標に係るアンケートの結果等について … 別紙 3

7 守山市民交流センター「さんさん守山」について

(1) 市直営による管理運営

ア 施設利用状況（12 月末時点）

文化活動スペース（貸館） 利用者数 25,493 名（R 2：26,609 名）

施設利用率 55.3%（R 2：56.6%）

市民活動スペース（無料） 利用者数 3,068 名（R 2：2,480 名）

施設利用率 16.5%（R 2：31.0%）

※市民活動スペースについては、7 月以降、サロンルーム A～D およびミーティング室（5 か所）を新たに供用開始。部屋数の増加により、前年比で利用率は減少しているが、利用者数は増加している。

イ 事業実施

「もりやま市民活動フェスタ 2021」の開催

日 時：11 月 17 日（水）～21 日（日）午前 10 時～午後 5 時

※最終日の 21 日は午後 3 時まで

内 容：活動展示、ステージ発表、市民参加と協働のまちづくりフォーラム等
参加団体：45 団体（内容は重複あり）

① 活動展示（団体の活動内容発表、作品展示等）24 団体

② ステージ発表（守山昔話、空手演武、フラダンス等）15 団体

③ 体験コーナー（干支づくり、囲碁、指編み等）7 団体

④ その他（フードドライブ、作品・被災地物産販売等）4 団体

参加者：のべ 650 名（受付者数）

成 果：各団体同士が互いを知り合い、交流を行う良い機会となった。なお、平日展示については、来場者が芳しくなかったため、次年度は検討を要する。

(2) 設備の改修

ア トレーニング室の閉鎖、新市民活動スペースの増設（7月～）

イ 冷暖房等空調設備の更新（8月～）

ウ トイレ改修工事（洋式化、非接触化、バリアフリー化）

1月17日～3月31日 機器入替工事（1階・2階男女トイレ、多目的トイレ）

※2月8日～2月17日は、全館貸館停止（安全性確保のため）

エ 今後の整備方針

築後約 40 年が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、今後も計画的に改修を進める必要がある。高圧引込付属部品、カーテンの修繕や壁紙の貼替等については、今年度予算の範囲内で実施予定。また、バリアフリー対策であるエレベーターの設置については、長寿命化計画に基づき、引き続き検討を進める。